



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

北朝鮮動向が緊迫して来ました。米トランプ大統領も強硬姿勢を崩さず、北東アジアには俄かに不確実性が高まって、世界の金融市場は楽観ムードから徐々にリスクオフ方向へと逡巡の様相を濃くし始めています。

こうした政治・地政学的リスクが高まると、条件反射的に円高方向へと為替が動いて、日本の株式市場は売り圧力が優勢になりがちです。一方で実体経済自体は、米国の安定基調が維持されて、雇用・消費・住宅市況、それに企業業績も堅調で、テーパリングと呼ばれる金融引き締め作業が間もなく始まるかとしています。

そして欧州でも景気回復局面入りが確かなものとなりつつあって、金融緩和政策の転換が見込まれる局面に入り、通貨ユーロは対ドル・円共に強含みに推移しています。さらに日本経済も力強さは感じられませんが、かれこれ5年にわたって景気回復基調は持続しており、名目GDPが20年ぶりに史上最大規模を更新して来ています。米欧日先進諸国が揃って経済上向き傾向で安定していることで、新興国経済も息を吹き返して、世界経済全体に久しぶりの一体的安定成長が実現していると言えます。

そうした経済環境がグローバルに株式市場を押し上げて来ていて、他方世界全体に物価上昇が鈍いことで、低金利傾向が継続している状況は、株式市場に程よい湯加減となって、暫し穏やかな市場動向が続いて来ているわけです。しかし北朝鮮挑発が次第に激しくなり、米トランプ政権の不安定感が増幅する中で、マーケットには米国の金融緩和修正への動きも含めて先行きへの警戒モードも芽生えていて、そろそろ相場の振れが大きくなり始めるのかもしれない。

私たち長期投資家にとって重要なのは、飽くまで経済活動の実体ベースであり、順調な地球経済の成長軌道にしっかり乗っておくことが何より大切です。相場の波動が大きくなっても、このスタンスを崩すことなく同じリズムを保つことが肝要で、市場環境の変化にも一喜一憂せず投資行動を続ける心構えを改めて確認してみてください。

「セゾン号」は注意深く、且つどっしり泰然とすすんでまいります。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

8月の市場動向

株式：【金融緩和の長期化観測に下支えされたものの、先行きに対する不透明感が広がったことを受けて力強さを欠く展開】

金融緩和環境が長期間継続するとの見方は維持されたものの、米国で政治的な不透明感が高まり、景気刺激策実現への期待が後退して明るい見方が後退したほか、北朝鮮情勢を巡る懸念が高まるなかでリスクを選好する動きが後退したことから力強さを欠く展開となりました。

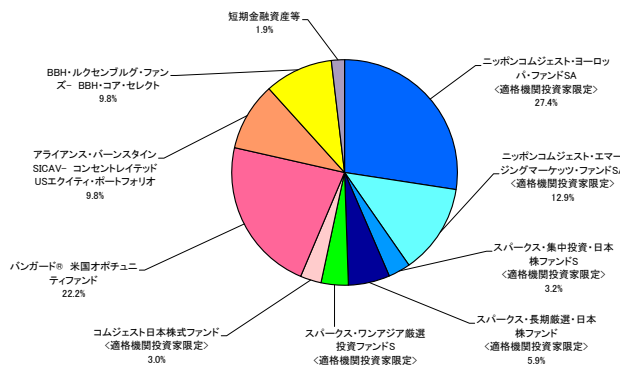
為替：【ユーロが引き続きドルに対して上昇。円は堅調な展開となり、小幅ながら対ドルで円高、対ユーロで円安】

米国で政治的な不透明感が高まり景気刺激策実現への期待が後退したことを受けてドルが軟調な展開となり、景気の先行きに対する明るい見方の広がりを背景に金融緩和縮小への警戒が根強いユーロが上昇しました。円はリスク選好が後退したことを背景に堅調に推移しました。

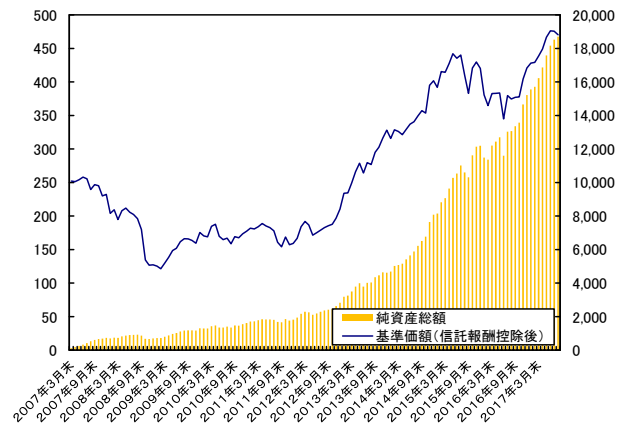
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年8月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
18,818円	467.4億円	+88.18%	-1.10%	+9.62%	+25.60%

資産配分状況（2017年8月31日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



8月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジストヨーロッパファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、BBH コア・セレクト・ファンド、コムジストエマージングマーケットファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、コムジスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月と変わらず、月末時点で1.9%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

多くの人が、一時的にでも保有している資産の評価額が減少することは避けたいと考えていますが、多くの人に避けられるからこそ、株式のように短期的に価格が大きく変動する資産には、本質的な価値よりも割安な価格で手に入れる機会が存在しており、その結果として投資を行うことにより期待されるリターンは、預金と比べて高くなっています。

現在も、金融市場では様々なリスクの存在が伝えられていますが、資産を減らす可能性が高くなるのは、市場参加者の関心がリターンに集中してリスクが意識されず、その結果としてリスク資産が割高な価格となっている時であり、リスクが意識されている時の方が、健全な状態であると言えます。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）